

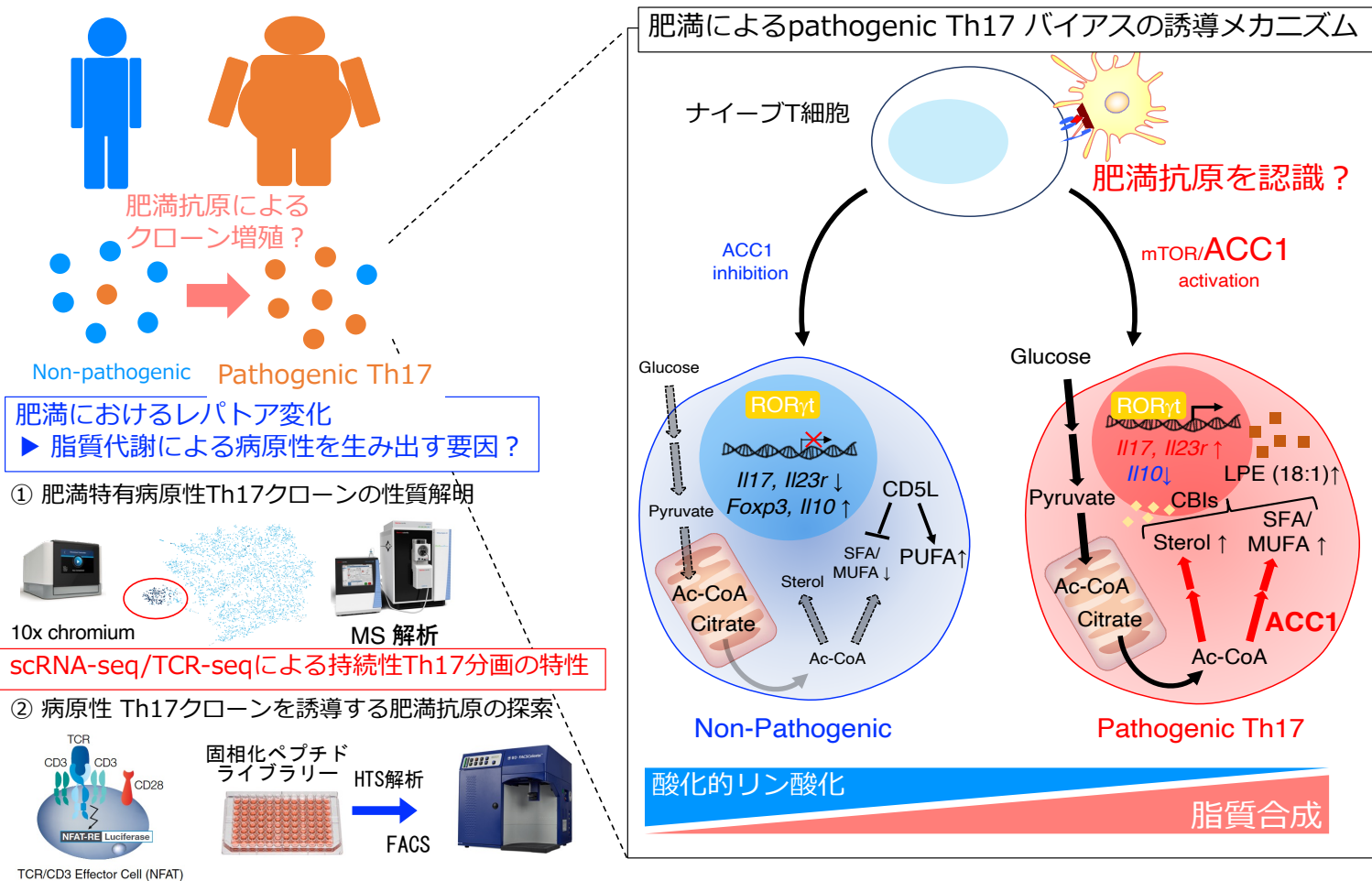
肥満における免疫病原性バイアスの分子機構解明

研究室HP : <https://www.kazusa.or.jp/laboratories/advanced-department/omics-lab/>

Researchmap : <https://researchmap.jp/endosantamaria>

<研究概要>

肥満は万病のもとと形容されるように、2型糖尿病などの代謝性疾患に加え、**自己免疫疾患やアレルギー疾患など免疫システムの暴走が招く慢性炎症疾患**にも深く影響する。こうした肥満による免疫システムの暴走については、これまでの申請者らをはじめとした免疫研究により、2次リンパ組織や皮膚・肺などの免疫臓器において、**Th17型の免疫応答へのシフト (Th17バイアス) が一因**であることを見出している (Endo Cell Rep. 2015, CMLS 2017, J Diabetes invest 2023)。また、申請者は10年以上にわたる分野横断的な免疫-脂質代謝研究により、肥満におけるTh17バイアスにはT細胞の内因性脂質合成の亢進が深く関わることを解明してきた。具体的には、Th17バイアスを引き起こす特異的脂質 1-オレイル-リゾホスホエタノールアミン(1-18:1-LPE)を同定し、脂質認識-Th17バイアスの誘導機構を立証している (Endo Sc Immunol 2023, Int Immunol 2024)。本研究では、肥満特異的な病原性T細胞クローンを同定し、Th17バイアスのトリガーとなる肥満抗原や脂質環境の特定に挑戦する。



えんどう ゆうすけ

氏名：遠藤 裕介

所属機関：かずさDNA研究所
オミックス医科学研究室

役職：室長

E-mail: endo@kazusa.or.jp

(49:病理病態学、感染、免疫学およびその関連分野
/49070:免疫学関連)

